

ばるみず  
漲水ぬクイチャー  
(二揚げ)

ばるみず ふなつくい すな  
1. 漲水ぬ船着ぬ砂んなぐぬよ

ヤヤヌ ヨーイヌ 砂んなぐぬよ (ニヨイッサイ)

漲水港の船着場の砂が

あわ くみ ぬゆ  
2. 粟んななり米んななり上りくばよ

ヤヤヌ ヨーイヌ 上がりくばよ (ニヨイッサイ)

粟や米になって上がってくれば

すまんな みすばら すぎがまた  
3. 島皆ぬ三十原ぬ兄小達やよ

ヤヤヌ ヨーイヌ 兄小達やよ (ニヨイッサイ)

島中の村の兄さんたちは

びら う  
4. 篋とらだ かに押さだ ゆからでいだらよ

ヤヤヌ ヨーイヌ らくすでいだらよ (ニヨイッサイ)

へらやすきを使わなくても  
豊かになるだろう 楽になるだろう

< 参考掲載 >

うがん なら ぶりなんがま  
5. 大神ぐすぶじ並び折波小ぬよ

ヤヤヌ ヨーイヌ 白波小ぬよ (ニヨイッサイ)

大神島の彼方のフジ瀬に寄せる波が

いちぬ  
6. 糸んななりかしんななり上りくばよ

ヤヤヌ ヨーイヌ 上がりくばよ (ニヨイッサイ)

糸やかせになって上がってくれば

すまんな みすばら あにがまた  
7. 島皆ぬ三十原ぬ姉小達やよ

ヤヤヌ ヨーイヌ 姉小達やよ (ニヨイッサイ)

島中の村の姉さんたちは

8. ぶやんまだ かしかきだ ゆからでいだらよ

ヤヤヌ ヨーイヌ らくすでいだらよ (ニヨイッサイ)

糸を紡がずかせをかけずに  
豊かになるだろう 楽になるだろう

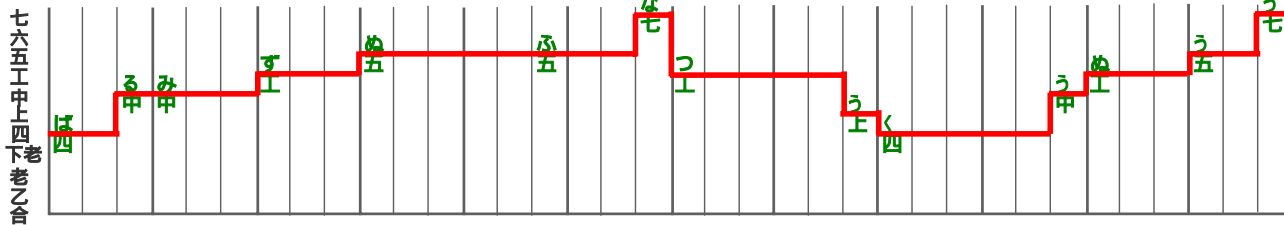
< 解説 >

人頭税廃止の直訴団を漲水港で見送る時に壮行の意を込めて歌われました。

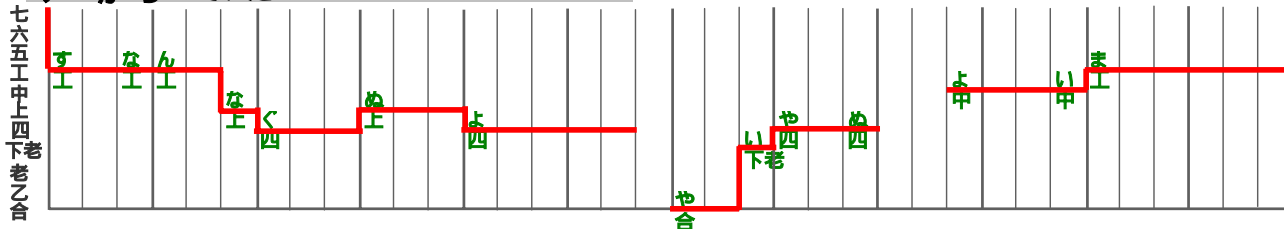
< 宮古 >

七<sup>八</sup>七<sup>八</sup> 四五 工中 七五 中工 中工 五

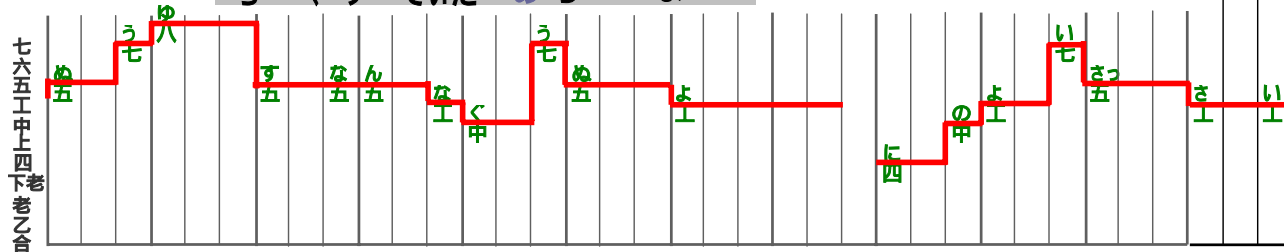
四 五 中 七 工 中 五 中 五 中 五 七 工 中 工 上 四 七 四 中 工 中 五 七  
 ば る み ず め む ぶ な つ 中 上 七 四 中 中 五 七  
 あ わ ん な な り ぬ り ぬ な なら ぬ り ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ  
 す ま ん な な り ぬ り ぬ な なら ぬ り ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ  
 び ら と う ら だ か に う さ だ あ だ あ あ



工 中 工 上 四 七 上 七 四 五 四 七 合 下 老 四 五 四 五 中 七 工 中 工 中  
 す な ん な ぐ ぬ よ 下 老 四 五 四 五 中 七 工 中 工 中  
 ぬ ゆ り く ば よ 下 老 四 五 四 五 中 七 工 中 工 中  
 す さ が ま た や よ 下 老 四 五 四 五 中 七 工 中 工 中  
 ゆ か ら で い だ ら よ



五 中 七<sup>八</sup> 七<sup>八</sup> 五 七 五 工 中 七 五 中 工 中 工 五 四 中 工 七 五 中 工 五  
 ぬ う ゆ す な ん な ぐ う ぬ よ 中 工 中 工 五 四 中 工 七 五 中 工 五  
 あ が り く ば よ 中 工 中 工 五 四 中 工 七 五 中 工 五  
 す さ が ま た あ や よ 中 工 中 工 五 四 中 工 七 五 中 工 五  
 ら く す で い だ ら よ



1. 漲水ぬ船着ぬ砂んなくぬよ ヤヤヲ ヨーイ-ヌ 砂んなくぬよ (ニヨイッサイ)
2. 粟んななり米んななり上りくばよ ヤヤヲ ヨーイ-ヌ 上がりくばよ (ニヨイッサイ)
3. 島皆ぬ三十原ぬ兄小達やよ ヤヤヲ ヨーイ-ヌ 兄小達やよ (ニヨイッサイ)
4. 籠とうらだ かに押さだ ゆからでいだらよ ヤヤヲ ヨーイ-ヌ らくすでいだらよ (ニヨイッサイ)
5. 大神ぐすふじ並び折波小ぬよ ヤヤヲヨ-イ-ヌ 白波小ぬよ
6. 系んななりかしんななり上りくばよ ヤヤヲヨ-イ-ヌ 上がりくばよ
7. 島皆ぬ三十原ぬ姉小達やよ ヤヤヲヨ-イ-ヌ 姉小達やよ
8. ぶやんまだ かしかきだ ゆからでいだらよ ヤヤヲヨ-イ-ヌ らくすでいだらよ